

Hokuen

北 縁



知恩院 方丈庭園

## 十夜法要のご案内

十夜法要とは、浄土宗の最も大切な経典の一つ「無量寿経」の中に、

「此（ここ）に於（し）て善を修すること十日十夜すれば、他方の諸仏国土にして善をなすこと千歳（せんざい）するに勝れたり。」

現代語訳 この世界で十日十夜の間、善行を修めることは、その功德は他の仏の世界で千年にわたって善行に励む功德よりも勝れている。

とあることに基づく法要です。

「南無阿弥陀仏」に、双盤念仏という長い節をつける独特の念仏をお唱えするのが、十夜法要の特徴です。法要の際には、太鼓・雅楽にはじまり、メロディーに乗った和讃なども行います。

また、法要の中で皆様が申し込まれた塔婆により一霊様ずつ戒名を読み回向いたします。お申し込みは同封の振替用紙をお使い下さい。



中央下に見えるのが双盤念仏に使う仏具です



法要ではモニターでお経を解説します

当山では以下の寺院様ご参列のもと、法要を執り行います。

法性寺（石狩市）	阿弥陀寺（岩見沢市）
天徳寺（江別市）	菩提寺（札幌市北区）
龍雲寺（札幌市北区）	大松寺（札幌市南区）
玄松寺（札幌市中央区）	長専寺（札幌市豊平区）
善道寺（札幌市豊平区）	瑞龍寺（石狩市厚田区）
開運寺（札幌市北区）	運海寺（滝川市）
方田寺（栗山町）	定住寺（浦河郡）
北泉岳寺（砂川市）	観音寺（札幌市中央区）
	善生寺（えりも町）

### 11月3日(日) 法要スケジュール

午前 11 時～ 法話

昼食休憩（お弁当を用意しております）

お参りの方は受付で塔婆を渡しますので、右写真のように水を向けていただきます。

午後 1 時～ 法要



法話

私のために、素直な気持ち

藤井 敬亮 師

北海道第二教区東組大成寺 副住職

今年の十夜法要の法話は各方面でご活躍中である釧路の大成寺副住職の藤井上人よりお話しを頂きます。



藤井 敬亮 師

大成学園釧路明照幼稚園 副園長

総本山知恩院布教師

雅楽団体悠楽会代表

1972 年生まれ

1995 佛教大学文学部仏教学科卒業

1998 佛教大学社会学部応用社会学  
科卒業

2003 雅楽団体悠楽会発足

2008～2009 浄土宗北海道第2教区  
青年会会長

2009 総本山知恩院布教師拝命

2013 大成学園明照幼稚園 副園長

無量山 自然院 大成寺（釧路市米町）

蝦夷地が北海道と名を変えたのは明治2年、その時アイヌ語でクスリと呼ばれていたこの地も釧路の名になりました。翌年蝦夷地を直轄していた松前藩や東北の人々が釧路市米町の地に定住しました。

大成寺は、明治9年に函館正行寺の智現上人により、先よりあった金比羅大権現のもとに正行寺仮説教所として建てられました。

明治15年同じく正行寺より二世忍譽徴源上人来釧。三世智遵上人が明治17年に自号公称し「無量山自然院大成寺」となりました。ご本尊は明治21年、三河渋川村性源寺より勧請された一光三尊阿弥陀如来の秘仏です。

ホームページ

<http://www6.ocn.ne.jp/~daijyo/>



## 職員を紹介します

今号より、当寺の職員をひとりずつご紹介していきます。最初は、住職・太田眞琴です。



### 新善光寺 6 代目住職

太田 <sup>しんきん</sup> 眞琴

1949 (昭和 24) 年 1 月 4 日、父・太田隆賢、母・眞佐枝の次男として誕生。当時、父・隆賢は北海道大学の職員として、また予科の助教授として奉職するかたわら、資金不足から行き場のない学生たちの面倒をみていました。兄弟 3 人とも、学生たちに子守をしてもらっており、よくなついていたと聞いています。

昭和 26 年 2 月、父・隆賢は北大を退職し、新善光寺の 5 代目住職に就任しました。また、昭和 29 年には、境内の敷地を利用して、「札幌明照幼稚園」を創設しました。私はその一期生です。自宅と隣り合っているにも関わらず、いつも遅刻しないよう駆け足で通っていました。

小学校はもちろん豊水小学校です。当時、1 クラスは 60 人で、1 学年 7 ~ 8 クラスありましたから、千数百人のマンモス校でした。今とは違って、一般の住宅のほかに、畳屋、自転車屋、銭湯など多くの方がススキノ界隈に住んでいました。学芸大学附属中学、札幌南高校生の時代には、映画館通いも楽しみました。

学習院大学卒業後、慈啓会に就職、平成 3 年には施設長として、慈啓会病院の経営近代化と法人全体のために力を傾注していた最中、副住職をつとめていた兄・顯隆の交通事故に遭ってしまいました。そのため、慈啓会を退職、急きょ新善光寺の 6 代目住職となることになりました。隆賢は、「宝塔」と「山門」の建立を志していましたが、その矢先、平成 4 年に心筋梗塞で突然死去してしまいました。

父亡き後、山門・宝塔の建立を引き継ぎ、成し遂げてきました。しかし、目まぐるしく変化するこの時代…。常に頭を柔らかく、何事にも対応していく自由な発想の転換を常に心がけています。



剃髪の前日に家族で

大本山増上寺 顧問  
札幌慈啓会 理事長  
学校法人新善光寺学園 (白石幼稚園) 理事長  
東京・霊源寺 兼務住職  
札幌市仏教連合会 顧問

公職  
北海道社会福祉協議会 副会長  
北海道社会福祉法人経営者協議会 会長  
保護司

## 極楽の花～あるがままに輝く～

“極楽”というと、みなさんはどのようなイメージをお持ちでしょうか。浄土三部經の一つである『ぶつせつあみだきょう 仏説阿彌陀經』には、極楽（お浄土）のありさまがこと細かく説かれています。今回はその様子の中でも、極楽の花にスポットをあてて、その花の在り方を通して真実の世界であるお浄土を味わってみたいと思います。

極楽の池には、大きな蓮の花が咲いています。青い蓮は青く光り、黄色い蓮は黄に光り、赤い蓮は赤く光り、白い蓮は白く光っています。一見、当たり前のことのように感じますが、本来そなえている性質（色）のままに、光り輝くことができるのは貴重なことです。

ところで、十人十色という言葉があります。私たちは、人それぞれに色（性質）を持っています。しかしながら、自身の色（性質）を見定められなかったり、または他者の色（性質）をうらやましく思ったり、他者と比べて嫉妬したり卑屈になったりします。また、他者に迎合して本来自身の色でない別の色に染まったりもします。それらの行為によって、私たちは思い悩む日々を過ごしています。極楽の蓮のように、あるがままに輝くことができたなら、どんなに清すがすがしいことでしょう。



では、なぜ極楽の蓮は、自らが本来持っている色のままに光り輝くことができるのでしょうか。極楽は、阿彌陀さまのお浄土です。その世界は、阿彌陀さまの光で充ち満ちています。阿彌陀さまの光は、すべてのものをありのままに照らしてください。良寛禅師（1758～1831）の歌に「ひさかたの月きよの光の清ければ 照らしぬきけり 唐からも大和も 昔も今も うそもまことも 闇も光も」とあります。阿彌陀さまの光は、お月さまのように時間や空間を越えて、虚栄と実像、または栄光と挫折といった心の光と影をも共に照らし、包み込んでくださいます。だからこそ、極楽の蓮は、阿彌陀さまの光に照らされてはじめて自身の色を知り、あるがままに輝いているのです。

白は白 黄は黄のままに 野の小菊 とりかえられぬ 尊さを咲く 田中木もくしゃ叉師

しがらみの多いこの世の中で、自身の色のままに輝きを放つことは、困難なことでしょう。しかしながら、誰とも同じではない唯一の人生をあるがままに生き切ろうとすること、これがお念仏者の生き方ではないでしょうか。 （文・立花 俊輔）



【新善光寺物語】

## 慈母観音像がやってきた

### 新善光寺に贈らなきゃ

最初に、2DKの北大官舎暮らしの太田家に舞い込んできたのは、医学生の曾根崎日吉さんでした。曾根崎さんの中学校の後輩だった真鍋知巳さんは、仕送りがストップしてしまい、困り果てて曾根崎さんに相談しました。すると、「太田先生に相談してみて、もし、いいとなったらお前も世話にならんか」と言うではありませんか。早速、2人で話してみると、あっさりOKしてもらえました。3人家族で暮らしていたところへ、居候2人が転がり込んでから、さらに2人の子どもが生まれ、太田家は5人家族になりました。

そこへさらに、真鍋知巳さんの父・岩太郎さんが置いてほしいと頼んできました。岩太郎さんは、戦前、樺太で医師として開業していましたが、限地開業医だったため、改めて医師免許を取得する必要があったのです。息子のいる北大で自分も...と考えたのでしょう。知巳さんは恐る恐る隆賢に相談しました。「どうせ狭いんだから雑魚寝すればいい」と今度も快諾したのです。

その甲斐あって、岩太郎さんは無事国家試験に合格、その後、愛媛県の西条市に真鍋医院を開業しました。無私無欲の岩太郎さんを、地元の方は“赤ひげ先生”とさえ呼びました。真鍋病院から15キロほど離れた急峻な山奥の集落に診療所を開き、自転車で診療に通っていました。

ある日、岩太郎さんは、一休みしようと加茂川に下りました。すると、大きな岩の表面になにやら白い姿が見えます。川の流れが邪魔するのですが、何度見てもその姿は観音様に見えました。県から掘り出しの許可が下りると、お世話になった太田先生が住職となった「新善光寺に贈らなきゃ」そう考えたのです。

「太田夫妻がいたから、知巳さんは北大を辞めずに済んだ」真鍋さん親子の感謝の念が、慈母観音像を見つけさせたのかも知れません。



川で発見された時の様子



慈母観音像が発見された加茂川

ズッコケ尼さんの仏教こぼれ話

## お盆の或る日

こまき ね きんしょう  
駒木根 琴生



来月のお十夜で一年の仏事が終わりに近づく。一年で最も多忙な時期はお盆である。ご先祖様達がお浄土より還って来ると云われている。此岸の私達は好物を考えて準備をする。迎える時には一刻でも早くという願いでキュウリに割り箸で足をつけ、送る時には少しでも長い滞在を願ってナスビに足をつけて献ずる。この独特の習慣は地域に因り異なるが、日本人の頑なな素朴な宗教心が伝わってくる。

私はこちらでお手伝いさせて頂いて十一年目になる。お盆期間は専ら納骨堂のお勤めをさせて頂いている。十日頃より賑やかになる。一家族がワイワイと多勢で来寺する姿に驚く。同居していなくても各人がお寺を集合場所に行っていると伺った。参拝後は昼食に寄る様だ。又、年老いた祖父母の為に車の送迎を買って出るのは孫の様だ。恐らく、目当ては別にあると推測できるが、いいじゃないですか……。三世代揃っての姿から、祖父母から息子へ、息子から孫へと手次いでいる絶えない灯明の明るさを感じる。

或る日、参拝依頼されて納骨堂に入ると、子供の声が聞こえた。私は子供達が一緒にいる時には、まずお十念の唱え方を伝え練習して貰う。法然上人は声に出す口称念仏を勧めている。なむあみだぶ・なむあみだぶ……と八回した後、九回目の時のみ「なむあみだぶつ」と「つ」を入れ、十回目は、なむあみだぶ、でお終い。その時、一緒だった六歳の女の子は一回の練習で完璧だ。勤行中、背後から大きな声のお十念が聞けた。六歳の女の子からご自分の名前を呼ばれた阿弥陀仏は喜んでいないに違いない。ご自身が誓われた本願力を発揮して見守り続けてくれるに違いない。又、別な日、娘さん三人連れの家族に告げられて、納骨堂に入ると直ぐに思い出した。「ああ良かった。元気だったんですね。」と迎えられた。二年続けて、仙台でお盆法話の為に不在中だったので心配下さっていたのだ。お祖父様が気に入ってくれて、毎年私に仏縁を下さる。最初の出逢いの時に高校生だった長女さんは美しい大学生に成長していた。一昨年亡くなったお祖母様のご廻向が初まった。娘さん達のお十念唱和は正しく驚いた。最初の時に、丁寧に教えられた所為と、聞いて嬉しい。それは私ではない。私を介して、阿弥陀仏がお力を与え続けたに違いない。

現在は、成長する子供達にとって決して良い環境とは云えまい。私も中学二年生と小学四年の孫が居る。彼等にお念仏の取り継ぎ役となり、阿弥陀仏に委ねる道を歩ませたいと、改めて心に刻ませて頂いたお盆でした。

よ すく さんぜ ほとけ こころ に おや こころ  
“ 世を救う 三世の佛の心にも 似たるは親の心なりけり ”

## 《 宮の沢別院より 》

### れんげどう 新納骨堂「蓮華堂」完成のお知らせ

前号でお知らせしました通り、従来ある納骨堂が手狭になってきているため、同じフロアに新しく納骨堂を作りました。

今までにない現代的なデザインにしようと思い、各お寺の納骨堂を視察し試行錯誤を繰り返して、遂に7月に完成いたしました。

壁画を画家の富家袈裟代氏に「蓮が咲く向こう側に舍利塔が建っている」というイメージで作成を依頼しました。また納骨壇のデザインには画期的なグラデーション加工を施しました。

是非、一度新しい納骨堂を見に足を運んでいただきたく存じ上げます。



お電話は 011-668-5110 まで

随時見学受け付けております。

メールでの問い合わせは下記アドレスまで

ポイント..... 画期的な現代風デザイン  
中の飾りはそれぞれ思い思いに  
(ご自分でお選びいただけます)  
お求めやすい価格  
快適なバリアフリー環境



飾り例  
(仏具はオプションです)

上段  
権利金 25 万円  
管理費 2 千円 (年間)

下段  
権利金 20 万円  
管理費 2 千円 (年間)

中段  
権利金 30 万円  
管理費 2 千円 (年間)



新善光寺 宮の沢別院

〒 006-0005 手稲区西宮の沢 5 条 1 丁目 19-35

011-668-5110 FAX011-668-5111

Email : miyanosawabetsuin@globe.ocn.ne.jp



慈啓会から

## お食事を楽しんでいただく

慈啓会養護老人ホームのお食事は、カウンターでサービスをする方式です。ですから、食事時には調理員とご利用様が、カウンターでお互いに顔を見て会話を楽しみながら配膳が進みます。お互いにコミュニケーションを図ることができるので、目の前のお料理について好みや多少の嗜好も融通することができます。

特に麺類の日は大賑わいです。

「ラーメン、大盛り！」「私は小盛りにしてね」

「ネギを入れないのがほしいわ」「あら、私はネギ大盛りでもらうわ」

「ラーメンのおかわりはありますか？」

「今日、うどんはないの？じゃあ～ご飯をいただくわ」

「ご飯も炊いていますので、ラーメンの人と一緒にどうぞ」

「味つきごはんなら食べようかな～」

お昼が麺の日は『夕食時間までにおながやすく』と意見があり、麺のメニューの時は必ずご飯も用意するようになりました。ご飯を食べるも食べないもお好みです。

このように普段からコミュニケーションを図ることができる環境の厨房では、ご利用者からも良く声をかけていただき、少しだけですがカウンター越しに個別オーダーに対応することができております。ご利用者様も職員もその会話を楽しめます。そしてご利用様が笑顔で「おいしかったよ」と声をかけて下さった時のそのうれしさが、私たちの仕事の喜びとなっております。

養護老人ホームではお食事を楽しんでいただくために、毎月のお誕生食や季節に応じたイベント食をプランしています。春には桜色のお赤飯やちらし寿司、さわやかな陽射しの頃には炭火をおこして焼き鳥を、秋にはサンマ丸ごとを焼いて食べていただきました。また寒くなつてからは食堂におでんの屋台を組んで熱々のおでんを煮込み、その雰囲気も味わっていただきました。今年9月の敬老会では、天ぷらバイキングを楽しんでいただいております。

風もすっかり冷たくなり、鍋焼きうどんや家族で囲む鍋料理など、温かいメニューがおいしい季節になりました。笑顔とともに、心も身体も温まるご利用者様の良きパートナーであるようこれからも努めてまいります。



慈啓会総合相談室  
0120-83-8291  
お電話受付時間 8:45～17:00  
(土日祝は除く)  
〒064-0941  
札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号

慈啓会養護老人ホーム管理栄養士 藤本夕美

慈啓会養護老人ホーム

札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6-52

011-561-8296

シリーズ 仏事のおはなし

お勤めのはなし

今回からは、檀信徒の皆さんが実際どのようにご自宅でお勤めをするのか。そんなところから話したいと思います。

・浄土宗信徒のお勤め

鈴を鳴らし、手を合わせる。こんなお作法は、ご先祖様を拝む時には誰でも一度は行ったことがあるのではないのでしょうか。

浄土宗では、その拝む時に「南無阿弥陀仏」の「お念仏」を声に出してお唱えすることを最も大切なお作法と位置付けています。お念仏の読み方は「ナムアミダブ」と基本は最後の「ツ」をのみ込むように発音します。（「お十念」といい、お念仏を10遍お唱えするお作法は、9遍目に「ナムアミダブツ」と発音します。）お念仏は浄土宗信徒にとって、誰でも、どこでも、いつでもお唱えする（できる）という大切なお作法なのです。

・日々のお勤め

「お仏壇のお話」でも言及しましたが、朝お仏壇にお水やお茶、仏飯などをお供えます。お供えしたら拝むわけですが、お仏壇の前に座り、鈴を鳴らしてお念仏をお唱えするというのが、浄土宗の檀信徒の一番簡素な、そして大切なお勤めと言えるでしょう。木魚があればそれを使いお念仏に励んで頂くということになります。朝な夕なお念仏を唱え、仏様、御先祖様をご供養するのです。

朝時間がなくお勤め出来ない時は、昼や夕方に行って頂ければよろしいと思います。もちろん朝昼夕の三回お勤め出来れば一番よろしいと思います。

木魚念仏（木魚を打ち調子を取りながらお念仏をお唱えするお作法のこと）で



は、木魚の打ち方があり、浄土宗では「合間打ち」という打ち方で打ちます。図1の「・」の箇所です。慣れないとなかなか難しいとは思いますが、数編続けて打つと、段々慣れてリズム良く打てるようになっていくと思います。しかし、なかなか合間で打てない方は「頭打ち」という打ち方でも結構だと思えます。



頭打ちは図2の様に文字の発声と同時に箇所を打ちます。また、お念仏は何回唱えなければいけないという決りはありませんが、一日に何回唱えるか、ご自身で決めてお唱えになるといいと思います（これを「日課誓約」といいます）。因みに法然上人は一日に六万遍、晩年は七万遍お唱えなさっていたという伝記が残っています。また、浄土宗の篤信者で知られる徳川家康公は、日に六万遍のお念仏をお唱えしたそうです。さすがにそこまでは難しいとは思いますが、ご自身で出来る数を決め、挑戦し達成することにより阿弥陀様への信仰が確立するはずですよ。

さて、前述のお勤めは浄土宗の最も大切な修行であるお念仏の唱え方についてお話ししましたが、皆さんはむしろお念仏より、お経を唱えることの方が「お勤め」という言葉としてしっくりくるのではないのでしょうか？

一般的なお勤めとは、経典を声に出して読むことです。「読経」とも言います。正式な言い方は「勤行」といいます。「行」という言葉が入っている意味は、お釈迦様や祖師のお言葉を声に出してお称えすることにより徳を積む「修行」としてとらえる為です。浄土宗の勤行法は3部構成になっており、僧侶ではない方にも解りやすくお唱え出来るようになっています。

### ・浄土宗の勤行

浄土宗勤行式は前述のとおり「序分」「本分」「流通分」という3部構成になっています。序分では、お勤めする道場（場所）を清め、み仏を奉請（お迎え）し、自らの罪濁を懺悔します。本分ではお釈迦様のお言葉である経典を紐解き、読誦（声に出して読むこと）し、さらにお念仏を唱え、その功德を様々な対象に手向けます。流通分では全ての仏様の誓願を唱え、仏様を仏国土へお送りします。簡単に言うとこのような順序でお勤めが進んでいきます。

では、次回からは一般的なお勤めの偈文（お経で読む文言のこと）と意味などをお話したいと思います。

シリーズ 日常法務のご紹介

ご供養はいつするの？

当山では年間数十軒の新しいお檀家様が入檀されます。「護る仏様はいらっしゃるが、どんな機会にご供養をするのか？」初めてご先祖様を護る方はもちろん、改めて聞く機会もなかなかないという方も多いと思います。

そこで、今回から数回にわたり、お寺で執り行っている日常のご供養などをご紹介しますと思います。

表題にもありますが、通常お寺では「業務」という言葉を「法務」と言います。また、お檀家様のお宅へご供養に伺うことを「訪問」とは言わず「下山」または「下がる、お下がりする」と言います。僧侶との会話や電話でこんな言葉が出てくるのを不思議に感じていた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

ご供養の機縁は地域によって違いますが、札幌周辺では主に「月忌」「年忌」「棚経」という機縁でご自宅やホテルなどの会場に伺う他、お寺に来て頂き（「寺参」と言います）寺内の納骨堂や仏間でご供養します。月忌は月のご命日のことを指しますが、お亡くなりになった月の事を「祥月」と言います。毎月のご命日のご供養はなかなかお仕事の関係などで大変なお宅でも、年に一度の祥月命日はご供養したいものです。

年忌は亡くなられてから定められた年数で親戚や縁者に参列して頂き、日常行っているご供養より丁重に行います。棚経とはお盆期間中に行うご自宅でのお勤めのことで、仏壇とは別に供養棚を設けることからこのように呼ばれます。



月参りの様子です



お寺で年忌（法事）をした時の飾り例

ご供養日	いつ行うのか	備考
ガツキ 月忌	毎月の「月のご命日」	お仕事などで都合がつかない場合、土日や代替日に行うお宅もあります。
ショウツキ 祥月	お亡くなりになった月の ご命日	平日で都合がつかない場合、土日などに繰り上げて行う場合もあります。
ネンキ 年忌	1周忌、3・7・13・17・ 23・27・33・50 回忌 (当山で承っている一般 的な年回です)	お亡くなりになった年を1年目として数えます。年回は地域によって異なりますが、左記以外も承っています。(年回表は毎年お配りいたします)
タナギョウ 棚経	8月1日～15日までの間	下山日はお葉書でお知らせしています。

新善光寺で承っている 日常法務

しろいし幼稚園から

## 感謝していただきます

白石幼稚園では、園庭の梨やぶどうの木が沢山実をつけ、間もなく収穫の頃を迎えます。その他にも、いも掘り遠足やぶどう狩り、りんご狩り、焼き芋など、子どもたちは秋の味覚を楽しみながら季節を感じているところです。

さて、幼稚園では毎年10月下旬に「収穫感謝祭」を行っています。これは、幼稚園で収穫した果物や野菜をののさま（仏さま）にお供えし、お祝いをする行事です。私たちがふだんからあたりまえのように食べているものも、太陽や水、大地、といった自然や、それを作る農家の人々や運搬、販売、調理する人など、さまざまな人たちの手を経て初めて食べる事ができます。幼稚園で子どもたちは、食事の前に「感謝していただきます」とご挨拶していますが、その“感謝”の意味をこのような行事を通して実感してほしいと思っています。



平成26年度新入園児募集

入園願書配布 10月15日（火）～ 入園願書受付 11月1日（金）～

保育見学も行っていきます。お問い合わせは教頭太田まで

新善光寺学園 白石幼稚園 札幌市白石区平和通1丁目南6-16 011-861-4426 Fax 011-866-0707

URL : <http://www.ans.co.jp/k/siroisi/> Email : [siroisi-pippara@cyber.ocn.ne.jp](mailto:siroisi-pippara@cyber.ocn.ne.jp)

アンケートはがきをお願い

皆様のご意見を広くうかがい、

今後の寺報発行ならびに寺院運営の

参考とさせていただきますので、

ぜひご意見ご感想等をお聞かせください。

ご記入いただきましたら、切り取り線より切り離し、

ポストに投函ください。

前号のハガキにおいて差出有効期間に不備がありました。皆様に御迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。

キリトリ線

郵便はがき

0 6 4 8 7 9 0

料金受取人払郵便

山鼻支店  
承 認

5169

差出有効期間  
平成27年9月  
13日まで  
(切手不要)

新善光寺

行

札幌市中央区南六条西二丁目二

キリトリ線

## 北縁 なんでもQ & A

前回までに多くのご投稿を頂き誠にありがとうございました。当寺報へのご要望などは順次既存のシリーズものの中や記事などで対応させて頂きたいと思っています。ここでは、投稿で頂いたご質問の中から、紙面の許す限りでお答えしたいと思います。

Q：本院の納骨堂は空きがあるのでしょうか？（厚別区のお檀家様）

A：現在、三段型の納骨壇に空きがあります。1、2段型は現在空きがありませんが、お申込み順に待機して頂いています。待機期間はここ数年の動向を見ますと、1年ほどになっています。価格や場所など、ご要望によって様々な御説明が必要なので、お気軽にお問い合わせください（担当：副住職）。また、宮の沢別院には、新規設置の納骨壇も含め空きがございます。こちらもお気軽にお問い合わせください（担当：別院主管）。

北縁では、引き続き皆様のご投稿をお待ちしています。より良い寺報作りの為、簡単な感想でも結構ですのご協力をお願いいたします。

キリトリ線

Q1．今回の寺報全体の感想はいかがでしたか。

- ・大変良かった
- ・良かった
- ・普通
- ・つまらなかった
- ・大変つまらなかった

Q2．面白かった(興味深かった)記事があればお教え下さい。

---

Q3．つまらなかった(読みにくかった)記事があればお教え下さい。

---

Q4．こんな記事が読みたいなど寺報に関する意見・要望などをお書き下さい。(お寺に対する意見等でもかまいません。)

---

---

---

---

---

差し支えなければお名前をお書き下さい。

---

ご協力ありがとうございました。

### レプリカ進呈します

前号で紹介した印仏のレプリカは6月の法要でお配りしましたが、ご希望の方がいらっしゃいましたら、どなたでも進呈します。電話・メールにて受け付けております。



額装した一例  
東区にあるトミヤ商事様に  
依頼しました。  
011-753-1038 担当：斉藤氏

キリトリ線

— お檀家タウンページ ~ともいき訪問 —

## 旅館 中村屋

新善光寺にはおかげさまで多くの檀家様がおります。その皆様の中から今号から新企画として、色々なご商売をされているお檀家様を紹介していきます。

まず、一回目は老舗の中村屋旅館様です。

JR 札幌駅から徒歩 10 分ほどにあります中村屋旅館は、明治 36 年に創業。昭和 33 年に札幌駅前から現在地へ移転、昭和 48 年に現在の建物を建てられました。

現在は新善光寺の檀家で婦人会会員でもある中村瞳三四様の長女である八尾師友美様が代表をつとめております。

場所柄、公務員やサラリーマンの利用が多く、ランチは 500 円からとお手頃な価格のため、非常に盛況です。

中でも、お昼のひととき、特別に開放したお部屋で食事をしながら語らっていただく「おしゃべり昼御膳」という女性限定の語らいの場は大人気。定期的に来られて、11 時～15 時くらいまで滞在され、「この時だけ外に出るの」とおっしゃる方もいるほどです。一度お試しください。



札幌市中央区北 3 条西 7 丁目（植物園正門前）

電話 011-241-2111 FAX 011-241-2118 <http://www.nakamura-ya.com>

行事予定

- 11月 3日(日) 十夜法要(詳細は巻頭参照)  
12月 11日(水) 仏名会  
12月 31日(火) 除夜の鐘  
1月 1日(水) 修正会(新年のおまいり)並びに新年大祈願法要  
宮の沢別院にておこないます。

仏教体感

この一年を振り返り年末に念仏を称えながら礼拝をして、身も心もきれいに祈念しませんか?どなたでもご自由に参加いただけます。

仏名会(ぶつみょうえ)

日程: 12月 11日(水)

時間: 13:00 ~ (30 ~ 40分の予定)

法話(お坊さんによるお話し)5 ~ 10分

法要 お話し後すぐ始めます

参詣の皆様にはお坊さんと一緒に無理のない範囲で礼拝(立ったり座ったりします)をしていただきます。



除夜の鐘をつき、この一年を省みて煩惱を除き、清らかな心になって新しい年を迎えませんか?

- ・撞いてくれた方には絵馬を進呈します
- ・休憩所には甘酒のサービスもあります

除夜の鐘

日程: 12月 31日(火) 時間: 23時 45分頃 ~

整理券をお配りしています、混雑状況によりご家族皆さんで撞いてもらう場合もあります。



YouTube

“新善光寺 除夜”(昨年の様子を公開しています。)

編集後記

1年もあっという間ですね。相変わらずギリギリの完成でした。さて、今号からアンケートはがきを参考にして職員やお檀家様の紹介を新企画で始めてみました。より、読みやすく、そしてお寺が身近に感じられるような寺報を作っていきたいと思っております。是非、ご感想をお聞かせ下さい。(海)